
平成23年3月期
決算説明資料

2011年6月28日

 静甲株式会社


Listed Company 6286

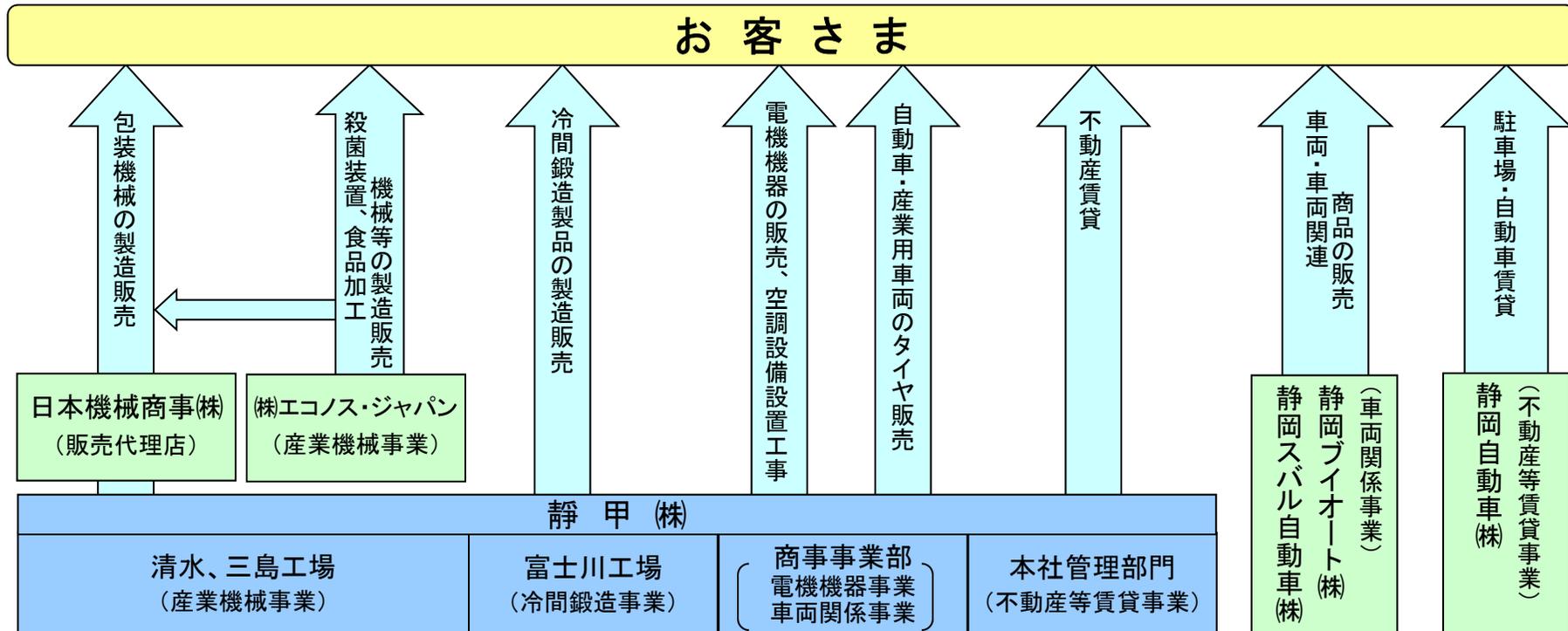
目 次

会社概要	P 1
グループ概要(連結子会社)	2
平成23年3月期 業績の概要(連結)	3 ~ 7
業績の推移(連結)	8
連結財務諸表	9 ~ 12
業績の推移(個別)	13
個別財務諸表	14 ~ 16
トピックス	17
平成24年3月期業績予想について	18

会社概要

会社名	静甲株式会社
設立	昭和14年5月18日
上場市場	大阪証券取引所 J A S D A Q 市場（平成2年10月 上場）
発行済株式総数	6,482,341株（自己株式982株を除く。単元株式数 100株）
代表者	取締役社長 鈴木恵子
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
資本金	13億3千7百万円
売上高	連結 216億7千万円 個別 93億1千1百万円（平成23年3月期）
従業員数	連結 632名 個別 299名（平成23年3月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■液体自動充填機などの自動包装プラントの製造販売■冷間鍛造製品の製造販売■FA（ファクトリーオートメーション）機器、空調設備、モーター、非常用電源設備、エレベーターなどの総合電機設備機器の販売及び電機・空調設備工事■自動車・産業用車両のタイヤ販売
連結子会社	日本機械商事(株)（本社：東京都）、静岡スバル自動車(株)、(株)エコノス・ジャパン、静岡自動車(株)、静岡バイオート(株)

グループ概要（連結子会社）



■ 連結子会社の状況（平成23年3月31日現在）

会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社（本社：東京都）	150,000千円	100%	包装機械の販売
静岡スバル自動車株式会社	50,000	100	自動車の販売修理
株式会社エコノス・ジャパン	30,000	100	殺菌装置・食品加工機械等の製造販売
静岡自動車株式会社	16,000	100	駐車場業・レンタカー業
静岡ブイオート株式会社	20,000	100	輸入自動車の販売修理

（注）1 当社は、株式交換により、平成22年8月1日付で静岡スバル自動車株式会社を100%子会社としました。

2 静岡ブイオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社です。

平成23年3月期 業績の概要（連結）

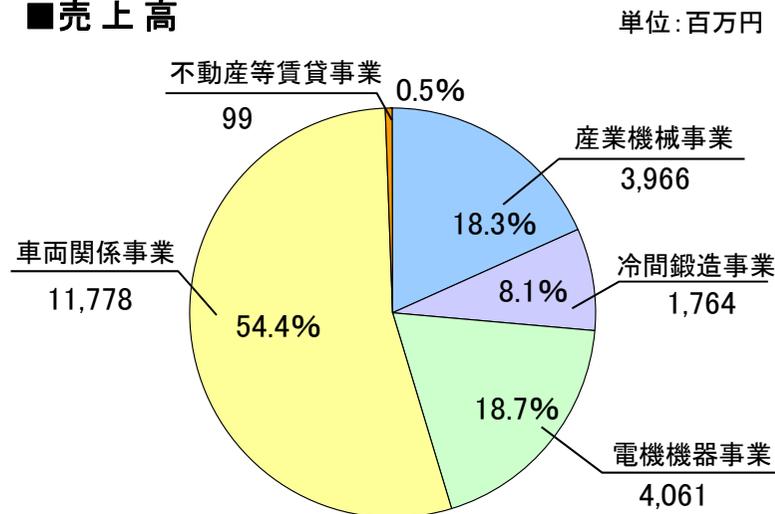
当連結会計年度におけるわが国の経済は、期前半は新興国市場の需要拡大や国による経済対策の効果などにより、緩やかな回復基調となりました。しかし、長引く円高やデフレなどに加え、期後半はエコカー補助金の終了により国内の新車販売が減少し、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災の影響も重なり、期末に向けて厳しい状況となりました。

このような経済環境のなかで、当社グループは、平成22年8月1日付で株式交換により静岡スバル自動車株式会社を完全子会社化し、車両関係事業を中心に事業再構築の取組みを進めてまいりました。また各事業において顧客満足の向上を重要な経営目標に掲げ、積極的な営業活動並びに生産活動を推進してまいりました。

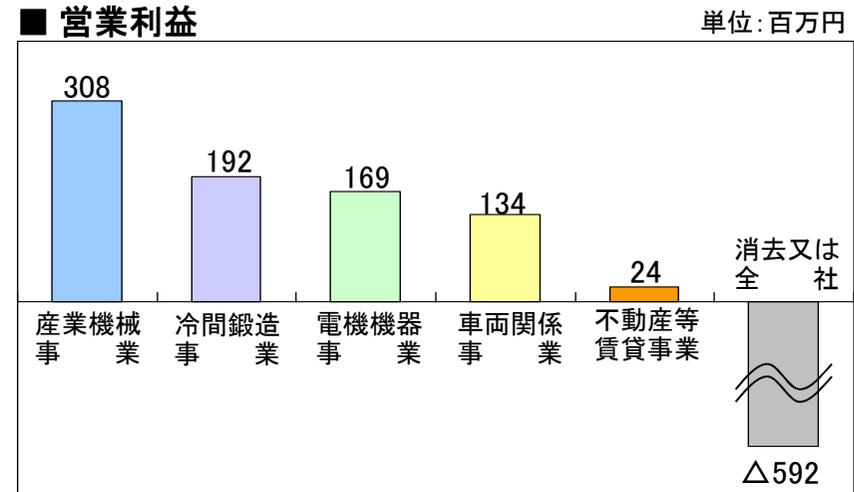
これらの結果、当社グループの売上高は、前連結会計年度を上回る216億7千万円（前期比2.1%増）となりましたが、株式交換に伴う経費の増加などにより経常利益は3億1千3百万円（前期比13.7%減）となりました。また完全子会社化に伴って特別利益として14億6千8百万円の負ののれん発生益が発生しましたが、事業再構築の一環として資産のグルーピング変更と車両関係事業の営業拠点統廃合を決定したことにより、特別損失として9億7千9百万円の減損損失を計上しましたので、当期純利益は6億1千8百万円（前期比325.4%増）となりました。

セグメント別売上高・営業利益

■ 売上高



■ 営業利益



(注)「消去又は全社」は、主にセグメント別に配賦することができない当社の管理部門に係わる費用です。

各事業セグメントの業績

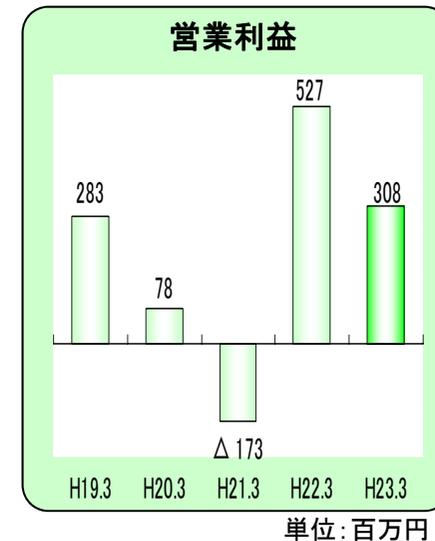
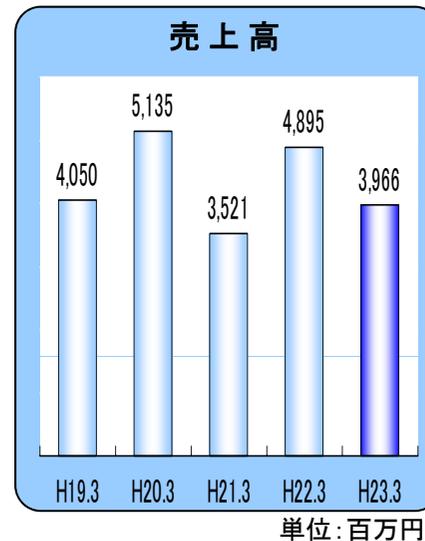
— 産業機械事業 —

業績

国内景気の先行き不透明感から、新規設備の導入を控える傾向があり、特にトイレタリーや化粧品業界からの引合いが減少して厳しい市況で推移いたしました。販売促進のため充填巻締機のリニューアルやその他の技術開発を行い、内覧会の実施などを通じて受注確保に努めるとともに、原価管理の強化に取り組みました。しかし、前連結会計年度に比べ大型案件が少なかったこともあり、売上高は39億6千6百万円（前期比19.0%減）、営業利益は3億8百万円（前期比41.6%減）となりました。



めんつゆ充填ライン



対処すべき課題

産業機械事業では、お客さまのニーズに合った製品づくりのために研究開発を推進して、展示会への出展などを通して市場にアピールし、受注の確保に努めます。また、変動費管理を柱とした原価管理を更に強化するとともに、機械の標準化を推進して、原価の低減並びにより品質の高い製品づくりに取り組んでまいります。

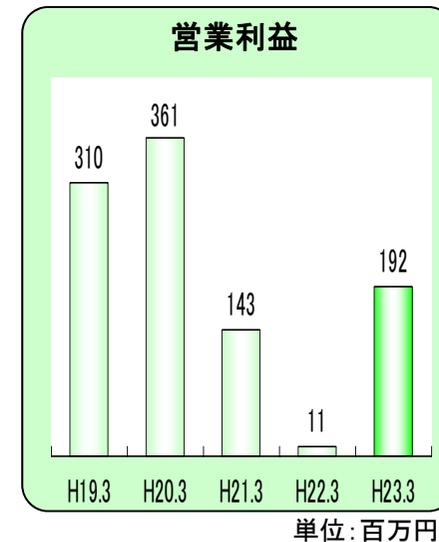
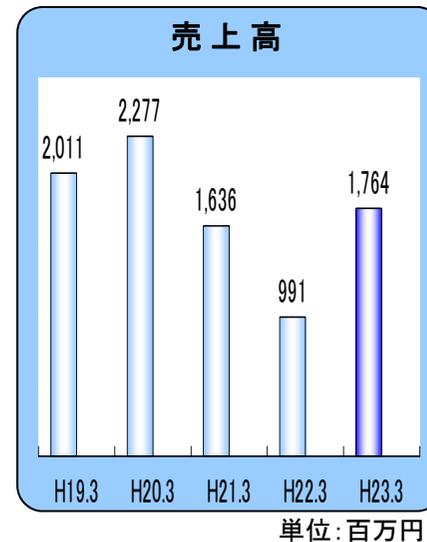
— 冷間鍛造事業 —

業 績

電動工具部品は、中国向けなど納入先メーカーの輸出が回復基調で推移したことにより、低調であった前連結会計年度を上回る実績となりました。また、自動車部品も、納入先の北米向け輸出が堅調であったことから増加いたしました。受注の回復に対応するため、交替制勤務を実施し、生産効率の向上に努めた結果、売上高は17億6千4百万円（前期比77.9%増）、営業利益は1億9千2百万円（前連結会計年度は1千1百万円の利益）となりました。



自動車部品等



対処すべき課題

冷間鍛造事業では、幅広い分野からバランスよく安定した受注を確保するため、産業機械部品分野の拡大に取組み、新規ユーザーの開拓を推進いたします。また、材料費や外注費などの削減に取組むとともに、サーボプレス機を活用したプレス工程の改善や、老朽化した生産設備の更新などにより生産効率の向上を図り、原価低減に取り組んでまいります。

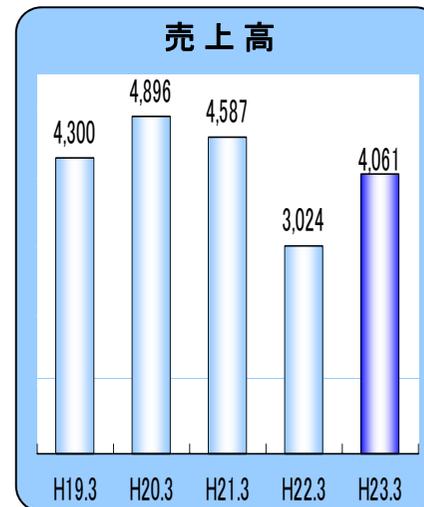
— 電機機器事業 —

業 績

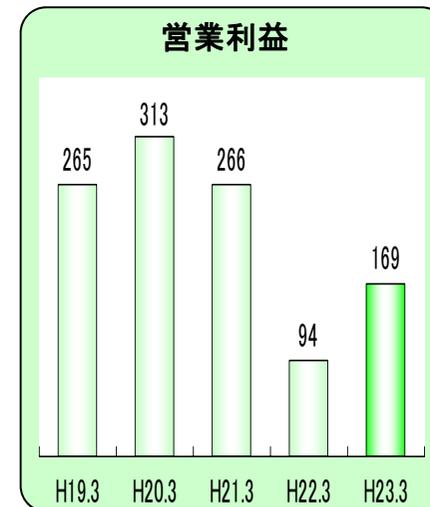
県内製造業の需要回復により、主力であるFA関連機器の販売が堅調に推移するなか、エンドユーザーに対する営業と販売店への営業支援を強化するとともに、新規顧客の開拓に努めました。空調機器や発電設備等の設備機器は、新規案件が少なく厳しい市況となりましたが、大型の機械設備を売上げることができたため、売上高は40億6千1百万円(前期比34.3%増)、営業利益は1億6千9百万円(前期比78.6%増)となりました。



取扱商品の三菱電機(株) 汎用ACサーボ



単位:百万円



単位:百万円

対処すべき課題

電機機器事業では、エンドユーザーへの営業を推進するとともに、技術サポート力を強化してシステム受注の拡大を図ってまいります。設備機器では、省エネルギーや環境関連などの分野における提案営業を推進するとともに、防災意識の高まりから引合いが増加している非常用発電機などの販売に努めます。また、製造業を中心とした顧客の需要開拓に組織横断的に取組んで売上の確保に努めます。

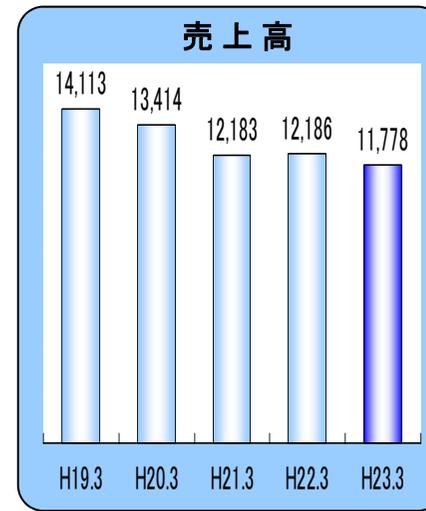
— 車両関係事業 —

業績

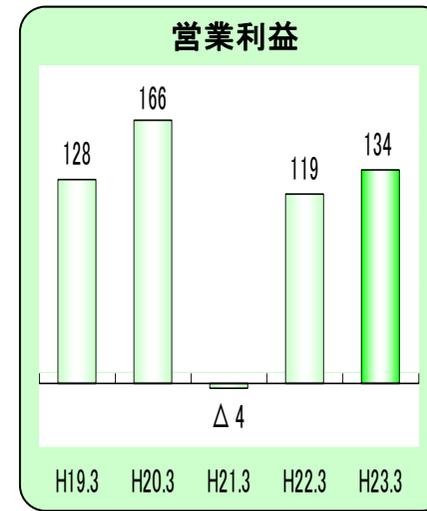
期前半はエコカー減税・補助金の効果により好調に推移いたしましたが、後半は補助金の終了に伴って厳しい市況となりました。また、期末には震災の影響で新車の納入が滞る事態となったこともあり、スバル新車部門の販売台数は前連結会計年度を下回りました。この結果、売上高は117億7千8百万円(前期比3.3%減)となりましたが、営業利益は、営業拠点の統廃合などにより販売管理費を抑えることができたため、1億3千4百万円(前期比12.8%増)となりました。



スバル レガシィ B4 アイサイトver.2



単位: 百万円

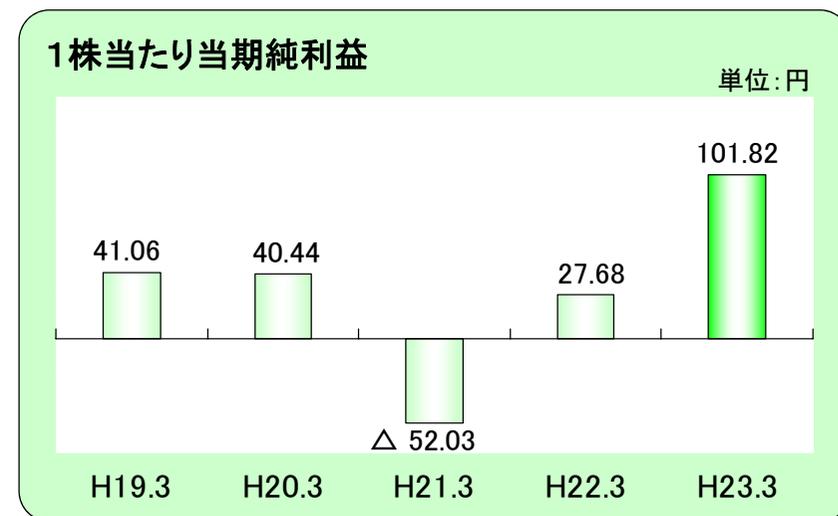
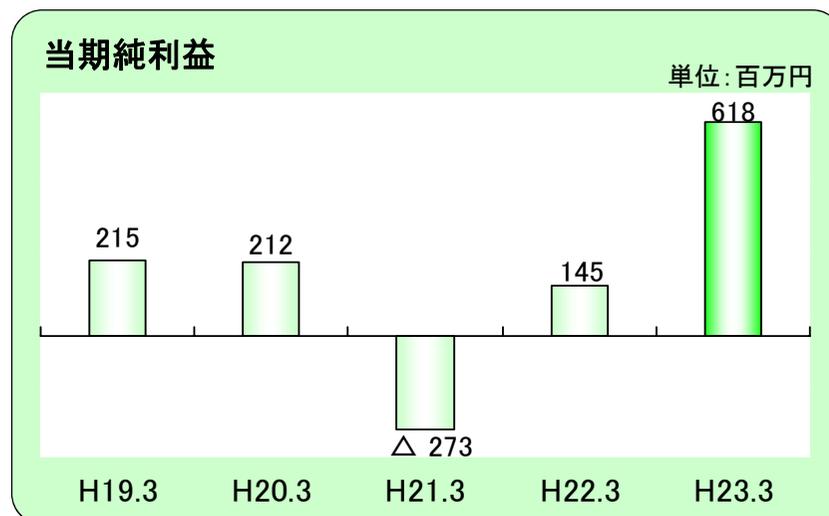
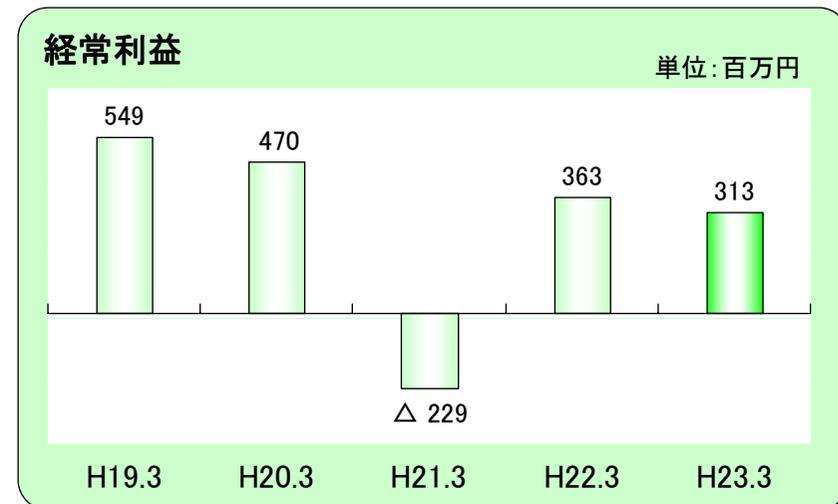
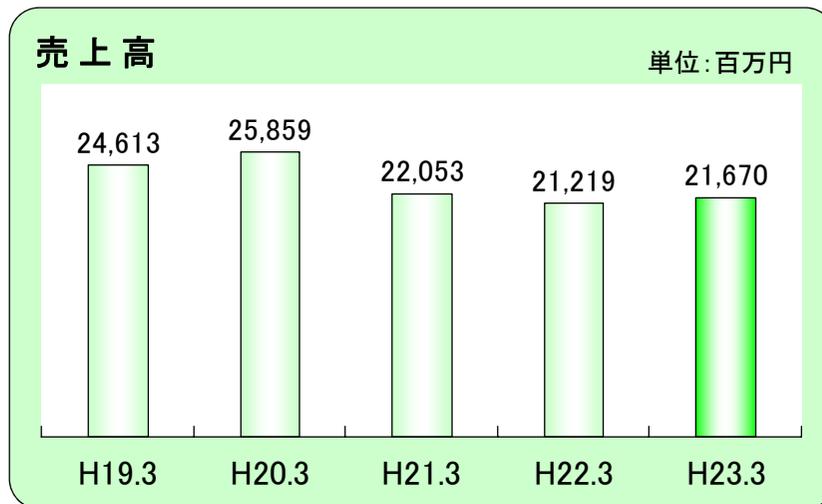


単位: 百万円

対処すべき課題

車両関係事業では、現在の売上規模に見合った営業体制への転換を図り、固定費削減を始めとした経営効率の向上を推進するために、これまで一部営業拠点の統廃合を進めてまいりました。今後につきましても、小型店舗を中心とした営業所の統廃合を計画しております。一方で、平成22年4月のポルシェセンター浜松の新設に続き、平成23年5月にはポルシェセンター静岡の移転を実施し、さらには老朽化した営業所の建替えなど、店舗の整備を進めてまいります。

業績の推移（連結）



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：千円

資 産 の 部			負債及び純資産の部		
	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在		平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
流動資産	7,987,937	8,390,067	流動負債	3,286,872	3,326,817
現金及び預金	3,388,654	2,831,146	支払手形及び買掛金	2,025,200	1,742,026
受取手形及び売掛金	2,842,056	3,716,092	そ の 他	1,261,671	1,584,790
たな卸資産	1,354,810	1,366,660			
そ の 他	410,271	480,136	固定負債	1,058,795	1,061,741
貸倒引当金	△ 7,854	△ 3,969	〈負債合計〉	〈 4,345,668 〉	〈 4,388,558 〉
固定資産	8,932,675	7,562,549	株 主 資 本	10,189,657	11,304,588
(有形固定資産)	(6,803,783)	(5,747,396)	資 本 金	1,337,000	1,337,000
建物及び構築物	2,309,428	1,869,908	資 本 剰 余 金	1,242,814	1,833,576
土 地	3,604,534	2,996,375	利 益 剰 余 金	7,610,401	8,134,656
そ の 他	889,820	881,112	自 己 株 式	△ 558	△ 644
(無形固定資産)	(41,575)	(42,260)	その他の包括利益累計額	268,588	259,469
(投資その他の資産)	(2,087,316)	(1,772,891)	その他有価証券評価差額金	268,588	259,469
投資有価証券	1,430,478	1,223,764	少数株主持分	2,116,698	-
そ の 他	746,508	549,196	〈純資産合計〉	〈 12,574,945 〉	〈 11,564,058 〉
貸倒引当金	△ 89,670	△ 68			
資産合計	16,920,613	15,952,616	負債及び純資産合計	16,920,613	15,952,616

連結損益計算書

単位:千円

	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	21,219,378	21,670,280
売上原価	16,980,095	17,379,945
販売費及び一般管理費	3,927,718	4,053,499
営業利益	311,564	236,836
営業外収益	82,579	107,900
営業外費用	30,615	30,996
経常利益	363,528	313,739
特別利益	2,188	1,469,260
特別損失	4,413	1,038,299
税金等調整前当期純利益	361,304	744,701
法人税、住民税及び事業税	117,077	109,577
法人税等調整額	66,011	50,124
少数株主利益	32,913	△ 33,107
当期純利益	145,301	618,107

連結株主資本等変動計算書 (平成23年3月期)

単位:千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成22年3月31日 残高	1,337,000	1,242,814	7,610,401	△ 558	10,189,657
連結会計年度中の変動額					
株式交換による増加		590,761			590,761
剰余金の配当			△ 93,852		△ 93,852
当期純利益			618,107		618,107
自己株式の取得				△ 85	△ 85
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	590,761	524,254	△ 85	1,114,930
平成23年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	8,134,656	△ 644	11,304,588

	その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
平成22年3月31日 残高	268,588	2,116,698	12,574,945
連結会計年度中の変動額			
株式交換による増加			590,761
剰余金の配当			△ 93,852
当期純利益			618,107
自己株式の取得			△ 85
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	△ 9,119	△ 2,116,698	△ 2,125,817
連結会計年度中の変動額合計	△ 9,119	△ 2,116,698	△ 1,010,886
平成23年3月31日 残高	259,469	-	11,564,058

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

	平成22年3月期	平成23年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,382,538	3,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 457,672	△ 636,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 371,158	18,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 758	△ 1,790
現金及び現金同等物の増減額	1,552,949	△ 616,413
現金及び現金同等物の期首残高	1,830,704	3,383,654
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	22,171
現金及び現金同等物の期末残高	3,383,654	2,789,412

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、27億8千9百万円であり、前連結会計年度末から5億9千4百万円の資金が減少(前連結会計年度は15億5千2百万円の資金が増加)いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益が7億4千4百万円でしたが、売上債権の増加、仕入債務の減少による資金の減少等により、3百万円の資金が増加(前連結会計年度は23億8千2百万円の資金が増加)いたしました。

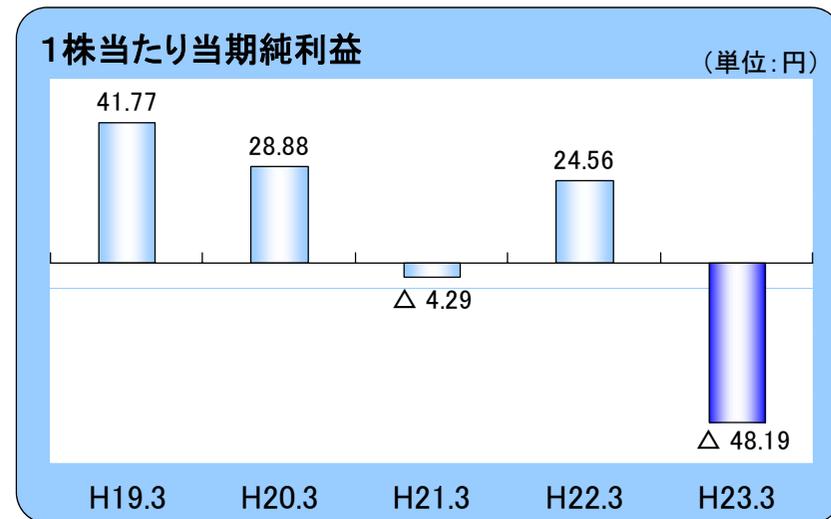
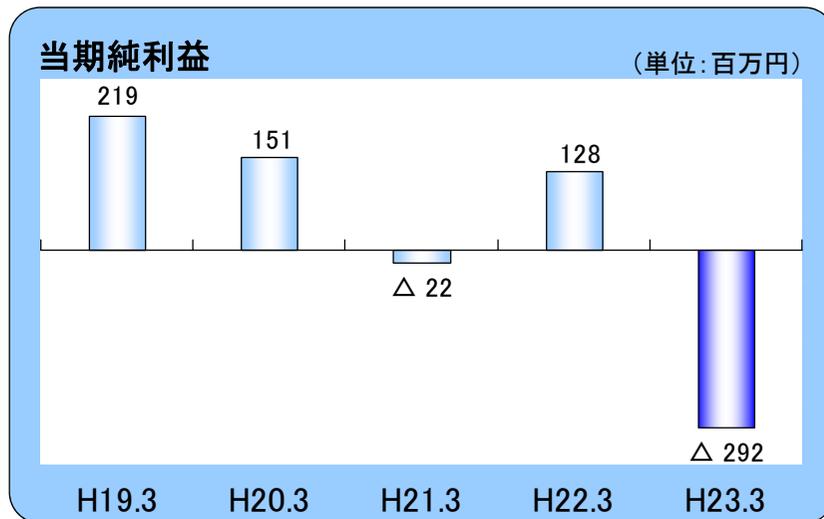
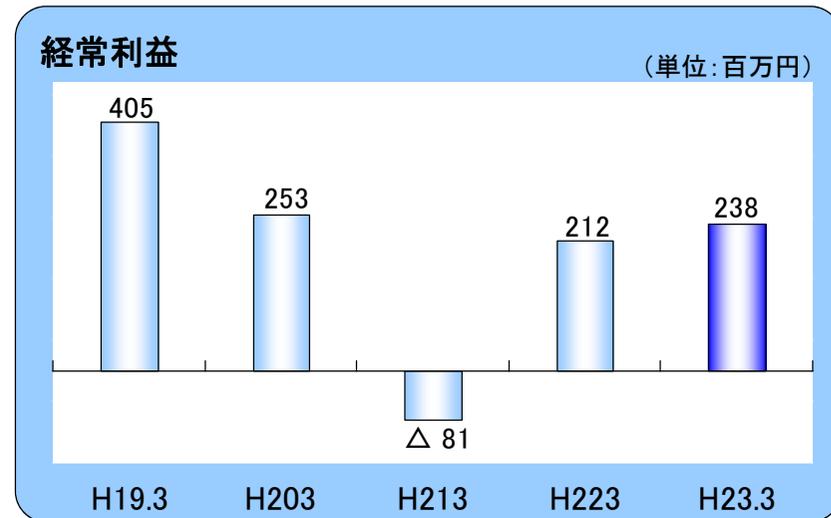
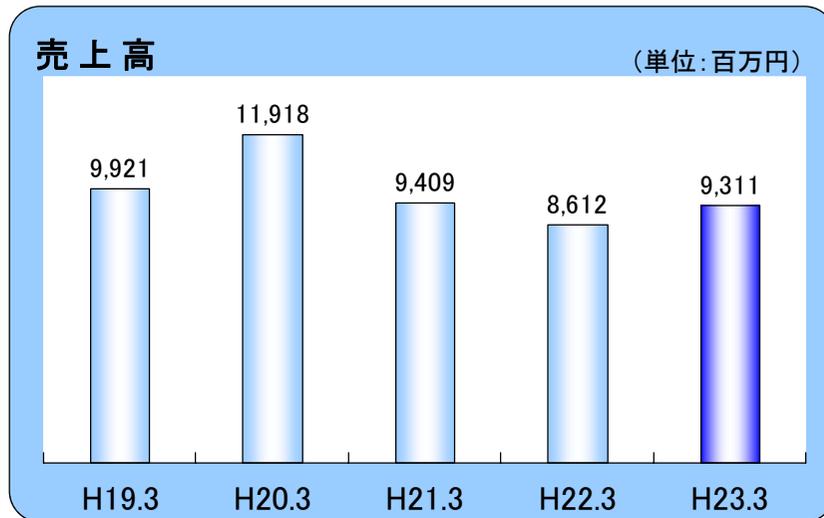
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローについては、有形固定資産の取得による資金の減少等により、6億3千6百万円の資金が減少(前連結会計年度は4億5千7百万円の資金が減少)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローについては、長期借入金の借入による資金の増加、配当金の支払による資金の減少等により、1千8百万円の資金が増加(前連結会計年度は3億7千1百万円の資金が減少)いたしました。

業績の推移（個別）



個別財務諸表

貸借対照表

単位:千円

資 産 の 部			負債及び純資産の部		
	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在		平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
流動資産	5,111,482	5,564,626	流動負債	1,122,241	1,493,510
現金及び預金	2,291,693	1,836,069	支払手形及び買掛金	561,267	812,601
受取手形及び売掛金	1,953,285	2,802,953	そ の 他	560,974	680,909
たな卸資産	669,512	732,718			
そ の 他	167,066	195,696	固定負債	565,471	537,370
貸倒引当金	△ 75	△ 2,811	〈負債合計〉	〈 1,687,713 〉	〈 2,030,880 〉
固定資産	5,742,085	5,816,940	株主資本	8,916,506	9,120,773
(有形固定資産)	(2,970,418)	(2,425,849)	資 本 金	1,337,000	1,337,000
建物及び構築物	955,023	749,991	資 本 剰 余 金	1,242,814	1,833,576
土 地	1,487,283	1,183,315	利 益 剰 余 金	6,337,250	5,950,841
そ の 他	528,111	492,542	自 己 株 式	△ 558	△ 644
(無形固定資産)	(21,471)	(28,483)	評価・換算差額等	249,347	229,912
(投資その他の資産)	(2,750,194)	(3,362,606)	その他有価証券評価差額金	249,347	229,912
投資有価証券	1,026,493	997,010	〈純資産合計〉	〈 9,165,854 〉	〈 9,350,685 〉
そ の 他	1,723,709	2,365,865			
貸倒引当金	△ 8	△ 269			
資産合計	10,853,567	11,381,566	負債及び純資産合計	10,853,567	11,385,566

損益計算書

単位:千円

	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	8,612,169	9,311,870
売上原価	7,268,805	7,846,713
販売費及び一般管理費	1,213,796	1,327,334
営業利益	129,567	137,821
営業外収益	103,564	124,409
営業外費用	20,890	23,516
経常利益	212,241	238,715
特別利益	1,379	1,001
特別損失	1,193	487,669
税引前当期純利益	212,427	△ 247,953
法人税、住民税及び事業税	16,533	96,955
法人税等調整額	66,955	△ 52,352
当期純利益	128,938	△ 292,556

株主資本等変動計算書 (平成23年3月期)

単位:千円

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成22年3月31日 残高	1,337,000	1,242,814	6,337,250	△ 558	8,916,506	249,347	9,165,854
事業年度中の変動額							
株式交換による増加		590,761			590,761		590,761
剰余金の配当			△ 93,852		△ 93,852		△ 93,852
当期純利益			△ 292,556		△ 292,556		△ 292,556
自己株式の取得				△ 85	△ 85		△ 85
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△ 19,435	△ 19,435
事業年度中の変動額合計	-	590,761	△ 386,409	△ 85	204,266	△ 19,435	184,831
平成23年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	5,950,841	△ 644	9,120,773	229,912	9,350,685

トピックス

■プロパックアジア出展(産業機械事業)

平成23年6月15日～18日まで、タイ・バンコクの国際貿易展示場で開催された、アジアにおける代表的な包装関連の国際展示会であるPropak Asia 2011(プロパックアジア)に、小容量リキッドボトリングシステムを出展しました。



出展機



ブースの様子

■ポルシェセンター静岡オープン(車両関係事業)

連結子会社の静岡スバル自動車(株)が、平成23年5月14日、ポルシェセンター静岡を移転オープンしました。広いショールームに、最新の機器を備えたフィッティングラウンジを設け、お客さま最優先の店づくりを目指しました。これからも、地域に密着したサービスを心がけてまいります。



ポルシェセンター静岡(静岡市駿河区聖一色151-1)

平成24年3月期業績予想について

当社グループでは、平成23年3月に発生した東日本大震災により、直接的な人的・物的被害は発生しておらず、影響は比較的軽微でありました。

しかしながら、震災の影響により商品及び部品の納入遅れが発生しており、また各種設備案件の実施時期の変更が予想されるなど、先行きは不透明であります。

つきましては、現時点では合理的に業績予想を立てることが困難であるため、平成24年3月期の業績予想の公表を差し控えております。現在、見通しを精査しておりますので、まとも次第速やかに公表いたします。

